

【議案第 53 号】 令和 4 年度鯖江市一般会計
補正予算 第 6 号

嚮陽会館の指定管理料の追加分 (670万円)は、なぜ必要なの？

説明 9月補正では、その時点での年間収支見込み額が約 1,297 万円の赤字と想定し、前期分として、その半額の約 649 万円を増額した。

今回、7月から9月までの収支実績を加え、10月以降の半年分の収支見込みを再試算した結果、約 1,321 万円の赤字となったため、9月補正額分を差し引いた 670 万円が追加分として必要となった。

問 ここ数年、年間収支の赤字が続いており、その補てんを行っているが、こうした状況が来年度も続いた場合、令和 6 年度からの指定管理者候補者の応募に不安はないのか。

答 嚮陽会館は、施設管理型の指定管理施設であり、貸館業務のみでの営業努力には限界があると考えている。次の指定管理者候補者の募集をかける際には、施設運営の継続性を考えながら、新型コロナウイルスの感染状況や電気・燃料等の必要経費の高騰といった社会情勢を十分に考慮した上で、指定管理料の見直しを図っていきたい。

問 指定管理者制度は導入から 10 年以上が経過しているが、コロナ禍も加わり、多くの施設に対し、赤字を補てんしながら管理・運営を行っている。現状を踏まえ、指定管理者制度に代わる新しい施設管理の在り方について、研究は行っているのか。

答 指定管理者制度の場合と直営の場合との費用対効果を比較検証するとともに、国の方針や全国の地方自治体における新たな仕組みや手法などの情報を収集しながら、深く研究し、検討する。



新しい施設管理の
在り方について研究を

【議案第 53 号】 令和 4 年度鯖江市一般会計
補正予算 第 6 号

マイナンバーカードの取得は 進んでいるの？(約1,967万円)

説明 マイナンバーカードの取得促進として、アル・プラザ鯖江に定期的な申請受付会場を設けるための経費や、外出が困難な方への対応として、自宅へ申請のサポートに伺うための人件費および車両や機器の使用料などの事務費である。

問 市役所のマイナンバー受付付近がかなり混雑しているが、通常業務に支障はないのか。また、現在のマイナンバーカード申請率はどのくらいか。

答 混雑の主な理由は、9月末までにスマートフォン等でマイナンバーカードの申請を個人

で行った場合のカード交付手続や、12月末までに申請を終えるためである。取得促進と混雑解消のため全庁態勢にて各地区公民館等での出張申請受付や、窓口での交付手続を行なっている。

また、会計年度任用職員を対象に夜間アルバイトを募集し、通常業務後に交付作業を行っている。

本市のマイナンバーカードの申請率は、11月末現在では 66.08% となっており、県平均の 68.06% と比較すると、2ポイント低い状況である。



マイナンバーカードの申請はお早めに！
マイナポイントの受け取りができるマイナンバー
カードの申請は、2023年2月末まで延長！